



# 越後七浦 シーサイド ライン

雄大な自然美と、浪漫に彩られた海岸線  
美しい紺碧の海は、さまざまな表情で人をいざないます



日本海に沈む夕日

越後七浦シーサイドラインは、角田浜から寺泊野積(長岡市)までの全長13.9キロメートルに及ぶ海岸道路。美しい砂浜や奇岩、断崖といった風光明媚な景色が楽しめる、人気のドライブコースです。  
角田岬を越え南下すると、海原と山塊が美しく調和する大パノラマが広がります。海上にそびえる立岩、弁財天を祀った弁天岩、間瀬海岸のシンボルである白岩、横から見ると獅子の頭のように見える獅子ヶ鼻など、見どころは数え切れないほど。新潟県の指定する「日本海夕日ライン」のメイン区間でもあり、海岸線から見る夕日の美しさはまた格別。訪れるたびに、自然の織り成す色とりどりの風景に出会える、そんな場所です。



秋

# 稲架木

稲架木は、刈り取った稲を天日干しする際に用いられてきた木。木と木の間に竹や木を渡し、黄金色の稲を掛けた様子は、米どころ新潟ならではの田園風景でした。現在では機械による乾燥が一般化し、稲架木も少なくなりましたが、西蒲区内にはその懐かしい情景に出会える場所があります。

岩室地区の「夏井のはざ木」は、約600本の稲架木を保存。農林水産省が選定した「農村景観百選」のひとつにも選ばれました。枝下ろしや、稲架掛けに参加できるイベントも企画されています。  
中之口地区にあるのは、県道に約700メートル続く「門田ハザ並木」。平成5年にはガス灯風の街灯を設置し、ライトアップされた姿も楽しめます。こちらは、読売新聞社主催の「新・日本街路樹百景」に選ばれています。

新潟の豊かな原風景を  
今に伝える稲架木

「夏井のはざ木」「門田ハザ並木」の稲架の表記は、それぞれの地域で使われているものをそのまま表示しています。



冬



夏



春

# ホタル

初夏の到来を告げる  
ホタルに会いに出かけよう

ホタルやホタルを育む自然を守っていくと、地元の人々が熱心に環境保護活動を行っています。  
※ホタルが見られる時期は気候などによって変動しますので、事前にご確認ください。

初夏になると、巻地区の福井や岩室温泉では幻想的なホタルの乱舞を見ることが出来ます。福井は角田山の南麓に位置し、多くの沢から清流が集まること。6月上旬からゲンジボタルが舞い始め、8月にヘイケボタルが終わるまで、長期でホタルの乱舞が見られ、周辺は「ほたるの里公園」となっています。ホタルが飛ぶ時期には、保護監視員が案内をしてくれます。  
一方、岩室温泉のホタルは温泉街から徒歩7〜8分の場所にある、岩室祓川に発生。6月上旬から下旬にかけて、沢から杉木立の高い枝にまで飛び交うゲンジボタルの大乱舞を見ることが出来ます。近くにひよまき冬妻清水があることから、「冬妻ホタル」と呼ばれています。



福井・ほたるの里



田ノ浦

目の前に佐渡島が浮かぶ、プライベートビーチのような静かな海水浴場。岩場もあり、磯遊びも楽しめます。海岸近くには田ノ浦温泉の宿もあるので、ゆったりと滞在して、自然を満喫してみたいかたがでしょうか。



間瀬下山

遠浅で水が透き通るようにきれいな、ファミリー客から人気が高い海水浴場。越後七浦シーサイドラインの中間に位置し、夕日の素晴らしい眺めも楽しめます。岩室温泉から一番近い海水浴場です。



角田浜

多くの浜茶屋や民宿が並び、県内外から大勢の海水浴客が訪れる県内有数の海水浴場。角田岬灯台を眺めることができ、夜のライトアップされた様子も幻想的です。バンガロー村や角田浜キャンプ場が隣接しています。



越前浜

遠浅で、砂浜が広い自然美あふれる海水浴場。なだらかな砂丘地にはハマグミや月見草が自生しています。ファミリー客や、臨海教育の場所としても人気があります。

目の前に広がるのは  
青い海と佐渡島

西蒲区の  
海水浴場